大阪教育大学附属天王寺中学校評価資料

－生徒、保護者、教師を対象とする調査結果－

令和７年３月

（1）調査内容

調査は、生徒、保護者、教員を対象に実施し、次の内容について回答を求めた。

【生徒・保護者用】

Q1　中学・高校の別
Q2　性別（生徒の性別）
Q3　学年
Q4　組
Q5　SSH 科目受講の有無（中学生は該当せず）

生徒:「学校のようすや､あなたの１学期から今までの学校生活を振り返ってどう思いますか」
保護者：「学校のようすやお子さまの１学期から今までの学校生活をどう思われますか。」
１：そう思わない、２：あまりそう思わない、３：少しそう思う、４そう思う

Q6　私は学校に行くのが楽しい。(子どもは楽しく学校に行っている。)
Q7　私は(子どもは)先生を信頼している。
Q8　私は(子どもは)友人を信頼している。
Q9　私は(子どもは)将来に目標を持ち、それに向けて努力している。
Q10　私は授業をうけるのが楽しみだ。(子どもは楽しく授業を受けている。)
Q11　私は(子どもは)予習復習や課題の提出などに普段から努力している。
Q12　授業では深く考えたり探究的であったりするような課題が出されている。
Q13　私は(子どもは)授業や学習において GIGA 端末など ICT 機器をよく活用している。
Q14　私は(子どもは)グループで活動しながら学習するのが好きだ。
Q15　私は(子どもは)心配や悩み事がある。
Q16　私は困りごとや悩み事を相談できる相手がこの学校にいる。
（この学校には、自分の子どもが困りごとや悩み事を相談できる相手がいる。)
Q17　私は社会のルールや、学校のルールをよく守って生活している。
（学校は社会のルールや、学校のルールをよく守らせようと取り組んでいる。）
Q18　私は防災や安全に関心があり大切にしている。
（学校は防災意識や安全意識を向上させようとしている。）
Q19　私は自分の心と身体の健康を保つよう意識している。
（学校は、子どもの心と身体の健康を保つよう取り組んでいる。）
Q20　私は、お互いの人権を尊重している。
（学校は、お互いの人権を尊重するよう取り組んでいる。）
Q21　私は(子どもは)家庭で学校のことをよく話す。
Q22　私は私の保護者によく理解されている。
（私は子どもによく理解されている。）
Q23　私は通う学校に誇りを持っている。
（私は子どもの行く学校に誇りを持っている。）

【教師用】

Q1	中学・高校の別
Q2	性別
Q3	学年
Q4	組
Q5	なし
Q6	私は職場に行くのが楽しい。
Q7	私は生徒から信頼されている。
Q8	私は同僚を信頼している。
Q9	私は生徒が将来に目標を持ち、それに向けて努力するよう指導している。
Q10	私は学ぶ楽しさを意識した授業づくりを行っている
Q11	私は生徒の学習習慣の向上を意識した指導を行っている。
Q12	私は深く考えたり探究的であったりするような授業作りを行っている。
Q13	私は授業中やその他の活動において生徒に ICT 機器をよく活用させている。
Q14	私は、主体的・対話的で深い学びを目指した授業を行っている。
Q15	私は心配や悩み事がある生徒によく気がつく。
Q16	私は生徒の困りごとや悩み事の相談をよく受ける。
Q17	私は社会のルールや、学校のルールをよく守らせようと指導している。
Q18	私は防災意識や安全意識を向上させようとしている。
Q19	私は、子どもの心と身体の健康を保つよう取り組んでいる。
Q20	私は、お互いの人権を尊重するよう取り組んでいる。
Q21	私は保護者から信頼を得ている。
Q22	私は生徒とその保護者の関係をよく理解している。
Q23	私は勤務する学校に誇りを持っている。

生徒・保護者及び教員ともに質問項目を、R1-R4 より変更し、3 者に同様の内容を問う項目に改めた。

（2）回答者数

対象ごとの有効回答者数は下表のとおりである。

属性	性別			学年				合計
対象	男	女	無記不明	1年	2年	3年	無記不明	
生徒	205	205	5	140	137	139	0	416
(n=416)	49.3%	49.3%	1.2%	33.7%	32.9%	33.4%	0.0%	
保護者	193	208	1	140	134	129	0	403
(n=403)	47.9%	51.6%	0.2%	34.7%	33.3%	32.0%	0.0%	
教員	10	7	0					17
(n=17)	58.8%	41.2%	0.0%					
全体	408	420	6	280	271	268	0	819
(n=819)	48.8%	50.2%	0.7%	34.2%	33.1%	32.7%	0.0%	

(3)　学校生活にかかわる自己評価の（クロス集計）結果

Q6.　学校は楽しい

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	418	87.6
保護者	405	96
教員	17	70.6

保護者、生徒とも肯定的な回答の比率が 9 割ほどあり、生徒より保護者の方がその比率は高く、保護者の期待？が大きいことが伺える。教員は 70%程度で、少なからず楽しく働けていない教員がいる。

Q7.　先生を信頼(している･されている)

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	419	87.6
保護者	405	94.1
教員	17	88.2

生徒、保護者、教員の肯定的な回答の比率がそれぞれ 87、94、88%と高い。特に保護者の教員への信頼度が高い。

Q8. 友人(同僚)を信頼

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	418	91.1
保護者	405	96
教員	17	70.6

生徒、保護者は、肯定的な回答の比率が 9 割を超えており、互いに信頼する関係にある。一方、教員間は 70%とそれほど高くない。

Q9. 将来の目標･努力

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	418	67.7
保護者	405	71.4
教員	17	88.2

ほとんどの教員は目標を持つように指導しているが、生徒自身も保護者から見た生徒も将来について、まだ目標が定まっていない者が 1/3 ほどいる。

Q10. 授業が楽しい

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	418	69.6
保護者	405	89.4
教員	17	88.2

保護者、教員とも肯定的な回答の比率が８割以上あるが、生徒の約 30%は、授業が楽しいと思っていない。生徒の心情は大人と異なり、授業が楽しくないと感じる生徒がそれなりにいる。

Q11. 予習復習

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	418	72.7
保護者	404	82.2
教員	17	82.4

保護者、教員とも、8 割程度が、生徒が予習復習に努力していると思っているが、約 30%の生徒がサボっていることを示している。

Q12. 探究的課題がある

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	418	92.1
保護者	403	94.5
教員	17	88.2

生徒、保護者とも、肯定的な回答の比率が、9割を越えている。探究的な課題が出されていることを生徒も認識している。

Q13. ICT 機器を活用

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	418	91.1
保護者	405	96.3
教員	17	58.8

生徒、保護者とも、肯定的な回答の比率が、9 割以上ある。GIGA 端末などの ICT 機器の操作を含め、生徒は学んでいる。

Q14. グループ学習が好き

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	419	87.1
保護者	405	80.5
教員	17	88.2

生徒、保護者とも、肯定的な回答の比率が、8 割程度ある。生徒もグループ学習が好きなようだ。

Q15. 心配・悩み事あり

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	418	47.8
保護者	404	26.7
教員	17	82.4

約 50%の生徒に心配や悩み事があるのに対して、保護者はその半分(約 25%)しか子どもに悩みがあるとは思っていない。悩みの程度にもよるが、保護者には悩みがあるようなそぶりを見せないでいる生徒が多いと思われる。

Q16. 相談相手

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	417	73.4
保護者	401	80.5
教員	17	70.6

生徒や保護者から見て、3/4 の生徒には相談相手となる友人がいる。逆に言えば、1/4 の生徒には相談できる友人がおらず、密な友人関係ができていない。

Q17. 社会や学校のルール遵守

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	418	89.5
保護者	405	97
教員	17	82.4

社会や学校のルール遵守に努めている割合は 90%程度あり、真面目な生活態度でいることがわかる。教員の評価は 80%程度なので、生徒の思いと教員の思いには、少し乖離がある。

Q18. 防災安全教育

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	417	75.5
保護者	405	87.2
教員	17	76.5

実体験がない中で防災や安全に関心を持ち続けるのは難しいと思うが、防災や安全に関心があり大切にしている生徒の比率は、3/4 程度と高い。能登の地震や各地の豪雨災害などが影響しているのだろうか。

Q19. 心と身体の健康

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	416	82.2
保護者	404	88.1
教員	17	88.2

心と身体の健康を保つよう意識している比率は、保護者は 9 割近いが、生徒は 8 割前後にとどまった。

Q20. 互いの人権を尊重

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	416	96.2
保護者	404	92.8
教員	17	82.4

互いの人権を尊重すると回答した比率は、生徒、保護者、教員とも 9 割を越え、人権についての高い理解が伺える。

Q21. 家庭で会話

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	417	72.4
保護者	405	78.3
教員	17	76.5

家庭で学校のことをよく話す生徒は、約 7 割、話すと感じる保護者は約 8 割である。3 割近い生徒は家庭であまり話していない。

Q22.　保護者に理解

	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	416	81.3
保護者	404	88.4
教員	17	47.1

生徒の 8 割以上が、保護者に理解されていると感じている。

Q23. 学校に誇り

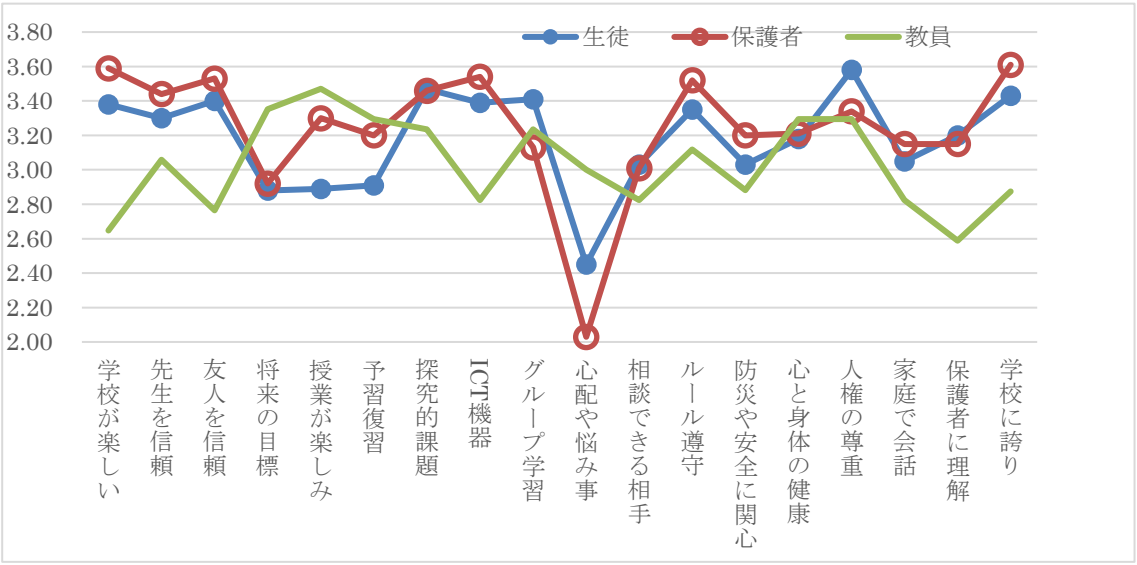
	回答数	肯定（そう思う。多少そう思う。）（%）
生徒	410	89.8
保護者	398	96.5
教員	16	81.3

生徒、保護者の 90%以上が、学校に誇りを持っている。教員は、誇りがあると思っていないのが 2 割近くいる。

（4）学校生活にかかわる自己評価の比較

① 生徒、保護者、教員間比較

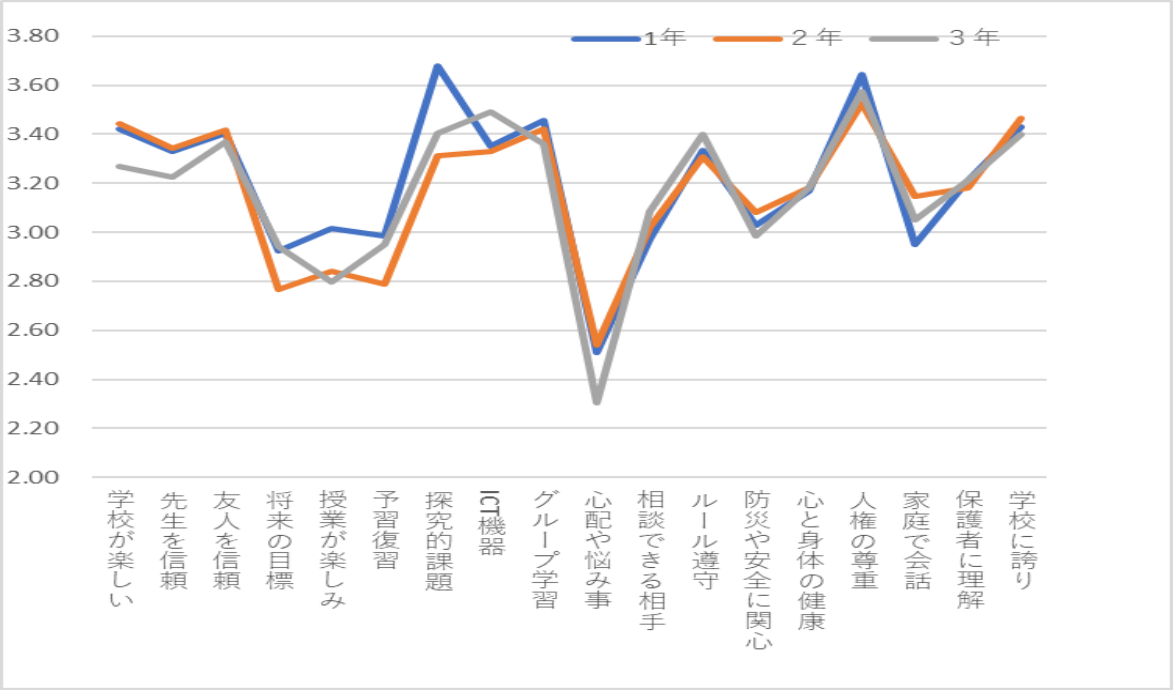
アンケート項目に対する回答（１：そう思わない、２：あまりそう思わない、３：多少そう思う、４：そう思う）を比率尺度とみなして、生徒、保護者、教員の各項目に対する回答の平均を算出した。



上記の各項目の平均値の生徒と保護者の間の差が大きいのは、「授業が楽しみ」「心配事悩みがある」「予習復習」の項目である。保護者が思っているほど「授業が楽しみ」ではなく、「心配事悩み」がないわけではなく、「予習復習」ができているわけではない、ことがわかる。

項目	生徒	保護者	教員
学校が楽しい	3.38	3.59	2.65
先生を信頼	3.30	3.44	3.06
友人を信頼	3.40	3.53	2.76
将来の目標	2.88	2.92	3.35
授業が楽しみ	2.89	3.30	3.47
予習復習	2.91	3.20	3.29
探究的課題	3.47	3.46	3.24
ICT 機器	3.39	3.54	2.82
グループ学習	3.41	3.13	3.24
心配や悩み事	2.45	2.03	3.00
相談できる相手	3.03	3.01	2.82
ルール遵守	3.35	3.52	3.12
防災や安全に関心	3.03	3.20	2.88
心と身体の健康	3.18	3.21	3.29
人権の尊重	3.58	3.34	3.29
家庭で会話	3.05	3.15	2.82
保護者に理解	3.20	3.15	2.59
学校に誇り	3.43	3.61	2.88

② 生徒の学年による比較



項目	１年	２年	３年
学校が楽しい	3.42	3.45	3.27
先生を信頼	3.33	3.34	3.22
友人を信頼	3.41	3.42	3.37
将来の目標	2.92	2.77	2.94
授業が楽しみ	3.01	2.84	2.80
予習復習	2.99	2.79	2.95
探究的課題	3.68	3.31	3.41
ICT 機器	3.35	3.33	3.49
グループ学習	3.45	3.42	3.36
心配や悩み事	2.51	2.54	2.30
相談できる相手	2.97	3.02	3.09
ルール遵守	3.34	3.31	3.40
防災や安全に関心	3.03	3.08	2.99
心と身体の健康	3.17	3.18	3.18
人権の尊重	3.64	3.53	3.57
家庭で会話	2.95	3.15	3.05
保護者に理解	3.21	3.18	3.21
学校に誇り	3.43	3.47	3.40

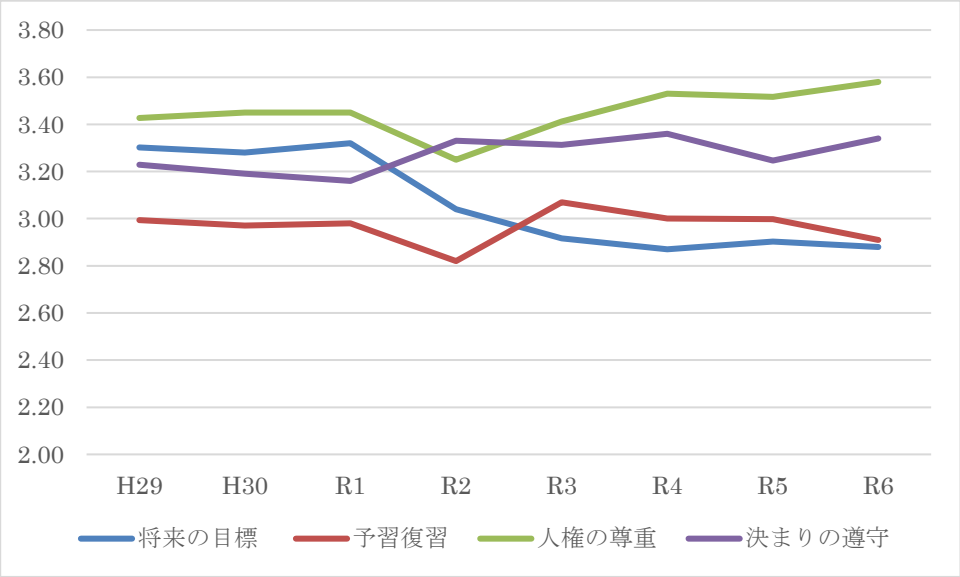
アンケート項目に対する回答（１：そう思わない、２：あまりそう思わない、３：多少そう思う、４：そう思う）を比率尺度とみなして、各学年の生徒の各項目に対する回答の平均を算出した。

各項目の平均値を学年ごとに比較すると、傾向は似通っているが、「探求的課題」、「予習復習」、「授業が楽しみ」の項目は、1 年が総じて高く、2 年生の値が低い。昨年同様、年次進行に伴って高い値を示すわけでなく、2 年生は授業に対する見方が変わるようだ。

③　年度別推移

アンケート項目に対する回答（１：そう思わない、２：あまりそう思わない、３：多少そう思う、４：そう思う）を比率尺度とみなして、年度別の生徒の各項目(継続して調査している項目)に対する回答の平均を示した。

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
将来の目標	3.30	3.28	3.32	3.04	2.92	2.87	2.90	2.88
予習復習	2.99	2.97	2.98	2.82	3.07	3.00	3.00	2.91
人権の尊重	3.43	3.45	3.45	3.25	3.41	3.53	3.52	3.58
決まりの遵守	3.23	3.19	3.16	3.33	3.31	3.36	3.25	3.34



継続してアンケートを実施している 4 項目について、平成 29 年から 7 年間の推移を図に示した。これら 4 項目の中で、コロナ禍の過去 3 年(R2～R4)に比率が大きく変化した項目は、「将来の目標」についてである。先行きの見えない不安な世相を反映しているのか、将来の目標を持ちにくい、努力できない、雰囲気を示しているのかもしれない。この傾向は、中高ともに見られたが、中学はコロナ禍前の値にまだ回復していない。